

博報堂D Yホールディングスと美団の広告部門 Solid Bit、戦略的パートナーシップを締結
～日中クロスボーダービジネス支援ソリューションを共同で開発開始～

株式会社博報堂D Yホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の研究開発部門マーケティング・テクノロジー・センター（以下 MTC）と、中華人民共和国（以下 中国）のライフサービスオンライン検索プラットフォーム「美团」の広告部門 Solid Bit は、日中クロスボーダービジネス支援のために、共同研究及び共同ソリューション開発を目的とした戦略的パートナーシップを締結しました。

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、インバウンド市場が低迷している中、多くの日本企業・団体は、越境 EC や自社 EC など、海外生活者との接点開発を強化しようとするものの、海外生活者の消費ニーズや、ニーズを捉えた販促・PR において手探り状態が続いており、海外へのアウトバウンドの検討や、ビジネスモデルの転換が求められています。

博報堂D Yグループと美団は、そういったクライアント企業の様々な課題を解決するために、特定カテゴリーの使用実態・意識把握や、生活者ニーズ、コンセプト受容性検証のリサーチサービスに加え、中国生活者を俯瞰的に洞察できるビッグデータ分析サービスやメディアの開発、さらにデータマーケティング応用まで、新たなビジネス・マーケティング支援ソリューションを提案していく予定です。

まず第一弾の取り組みとして、美団が保有する中国最大級のプラットフォーム「美团」・「大衆点評」における中国の生活者の嗜好や生活全般のオンライン・オフライン行動に関する生活者ビッグデータを活用し、プランニングを支援する「新・生活者リサーチソリューション」の開発に着手し始めました。また、中国における「日本好き生活者」や「新エネルギー車（NEV）潜在顧客層」に焦点を当て、生活者リサーチを試験的に実施しました。

今後、新・生活者リサーチサービスに加え、中国生活者を俯瞰的に洞察できるビッグデータ分析サービスや、さらにデータマーケティング応用までできるようなマーケティングソリューションの開発に取り組んでまいります。

今回の戦略的パートナーシップによって、博報堂D Yグループのマーケティング・テクノロジーに関するソリューション開発力と、美団が保有するビッグデータ等のリソースを掛け合わせることが可能となり、インバウンド事業・中国現地でのビジネスに参入を検討している日本企業・団体に向けた、日中クロスボーダー全域におけるフルファネル型マーケティング対応のソリューションの研究開発を進めてまいります。

■美団について

美団は中国、北京市に本社を置く生活関連サービス企業であり、年間（2021年）6.9億にも上るアクティブ決済ユーザーが愛用する中国最大級のOMO（Online Merges with Offlineの略称）生活情報プラットフォーム「美団」・「大衆点評」などを運営しています。主要なサービス・カテゴリーとして中国および海外の飲食店、デリバリー、ショッピング、宿泊・交通機関、エンターテインメントやカーライフ等を幅広く網羅しており、あらゆる生活シーンに寄り添う機能が「美団」・「大衆点評」のアプリ内に集約されています。

日本における「大衆点評」を利用しているユーザー数も、コロナ禍前の2019年に、美団アウトバウンド事業部、Solid Bit Hong Kong Limitedが集計した日本エリアにおける「大衆点評」MAU（月間アクティブユーザー数）によると、50万人／月であり、訪日中国人観光客の55%以上を占めていました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 中田・平原・江渡
TEL:03-6441-9062 e-mail:koho.mail@hakuodo.co.jp

美団グループ Solid Bit Hong Kong Limited 日本エリアビジネス開拓統括 呉
TEL:050-1752-0302 e-mail:mphtb.japan@meituan.com